

平成21年度認定
ふくい伝統的民家



福井県

目 次

1	「ふくい伝統的民家」認定制度について	----	P 1
2	認定基準	-----	P 1
3	認定状況	-----	P 2
4	認定民家		
1)	典型的な町家型	-----	P 4
2)	典型的な農家型	-----	P 8
3)	その他地域固有の形態を持つ民家	-----	P28
5	用語解説	-----	P30

1 「ふくい伝統的民家」認定制度について

福井県では、平成18年4月1日より「福井県伝統的民家の保存および活用の推進に関する条例」を施行し、この条例に基づく施策の一つとして、「ふくい伝統的民家」認定制度を開始しました。

この「ふくい伝統的民家」認定制度は、所有者の申請に基づき県が認定を行うもので、伝統的民家に誇りを持って住み続けていただき、後の世代に継承していただくことを目的としています。

2 認定基準

県内のそれぞれの地域で受け継がれてきた「妻壁を柱と梁で格子状とした漆喰塗の切妻屋根の農家型の民家」や「格子戸等町家の伝統的意匠を基調とした切妻屋根の町家型の民家」等、外観が典型的な伝統的民家の基準を満たす木造建物または県の審査委員会が地域固有の伝統的民家と認めたもの。

典型的な伝統的民家の基準

— 典型的な農家型の例 —



〈屋根〉切妻屋根・瓦葺き（嶺北は越前瓦葺き）

※主屋根が入母屋のものは認定対象外

〈妻壁〉束（柱）と貫（梁）の格子組および漆喰塗り様

小屋梁から下は漆喰塗り様または木製板張り

〈下屋〉妻壁前面に瓦葺きの下屋

〈玄関〉地域の伝統的意匠を基調としたもの

— 典型的な町家型の例 —



〈屋根〉切妻屋根・瓦葺き（嶺北は越前瓦葺き）

〈外壁、軒裏〉地域の伝統的意匠を基調としたもの

通庇を設けたもの

〈開口部〉格子戸等町家の伝統的意匠を基調としたもの

軒高、軒出、庇の高さ、壁面線を街並みに揃えたもの

3 認定状況

平成21年度 「ふくいの伝統的民家」認定件数 163件

(内訳)

市町別	計	年代別				形態別					
		明治 以前	大正 ～1945	1945～	不明	典型的 農家型	典型的 町家型	茅葺き 建て	かぐら 妻入り うだつ	その他	
福井市	56	7	17	29	3	49	1				6
敦賀市	1	1									1
小浜市											
大野市	4	1	2		1	4					
勝山市	2		2				2				
鯖江市	24	5	13	6		24					
あわら市											
越前市	40	9	17	13	1	34	5				1
坂井市											
永平寺町	2	1		1		2					
池田町											
南越前町	1		1				1				
越前町	29	8	10	11		27					2
美浜町	1	1					1				
高浜町											
おおい町											
若狭町	3	2	1				3				
合計	163	35	63	60	5	140	13				10

(参考) 平成18年度～平成21年度 「ふくいの伝統的民家」認定件数 617件

(内 訳)

市町別	計	年代別				形態別					
		明治 以前	大正 ～1945	1945～	不明	典型的 農家型	典型的 町家型	茅葺き	かぐら 建て	妻入り うだつ	その他
福井市	157	44	45	63	5	138	5	7			7
敦賀市	7	6	1			2	3	1			1
小浜市	31	21	8	2		5	26				
大野市	37	11	14	10	2	18	16	1			2
勝山市	70	28	25	15	2	40	29	1			
鯖江市	79	29	25	23	2	72	5	1			1
あわら市											
越前市	101	32	37	29	3	74	17	3		3	4
坂井市	17	13	3	1		1	7	1	5		3
永平寺町	14	5	6	2	1	9	5				
池田町	3	2		1		1		1			1
南越前町	9	8	1				5	4			
越前町	47	16	14	17		43	1	1			2
美浜町	1	1					1				
高浜町	34	22	9	2	1	12	21				1
おおい町											
若狭町	10	8	1	1			9	1			
合 計	617	246	189	166	16	415	150	22	5	3	22

4 認定民家

1) 典型的な町家型

〔福井市〕

福井市に残る伝統的町家は少ないが、木田銀座通りのように、昭和初期の町家が数多く見られる地区もある。

455 福井市月見 昭和13年



〔勝山市〕

城下町時代の中心街であった本町通り沿いは、今でも大店が軒を連ねている。呉服屋や酒屋、醤油屋など大規模で、整った表構えをもつ商家が多くみられ、市内において歴史的町並みを最もよく留めている。ただし、これらの町家はいずれも明治29年(1896)の大火後につくられたもので、明治末から大正、昭和初期に形成された町並みである。

456 勝山市元町 昭和3年



508 勝山市本町 昭和10年



〔越前市〕

武生の中心街を南北に通る旧北陸街道は、かつて松並木、中央に表川が流れ、独特の風景を形成していた。この通り沿いには、現在も伝統的町家が軒を連ねて残っている。

また総社の少し北側で、旧北陸道から西に延びる通り沿いには、大正2年の大火消失後に建て直された町家が軒を連ねている。

509 越前市本多 明治中期



510 越前市京町 大正3年



511 越前市桂町 昭和元年



512 越前市蓬萊町 大正時代



513 越前市国府 大正3年



〔南越前町〕

南越前町今庄地区は、旧北陸街道の宿場町の面影をよく残している。旧街道沿いに、南北約 1.5 キロにわたって伝統的な表構えを持つ町家が軒を連ねている。

514 南越前町今庄 昭和 4 年



〔美浜町〕

美浜町佐柿地区は、天正 11 年（1583）に豊臣秀吉の家臣木村常陸介定によって国吉城の城下町として整備された旧丹後街道沿いに帯状につらなる集落である。旧道沿いの 70 戸ほどの家屋は戦前から戦後につくられたものが多いが、家構えは整っていて、外壁の下見板張などに統一感がみられる。

457 美浜町佐柿 明治 40 年



〔若狭町〕

若狭町熊川は、重要伝統的建造物群保存地区にも指定され、町並み保存に積極的に取り組んでいる。

旧若狭街道沿いには伝統的な表構えを持つ町家が軒を連ねており、旧街道の宿場町の面影をよく残している。

515 若狭町熊川 大正時代 <伝>



516 若狭町熊川 江戸後期 <伝>



517 若狭町熊川 明治初期 <伝>



2) 典型的な農家型

〔福井市〕

伝統的民家に茅葺きが取り入れられるのは明治以降で、主屋の間口は3~4間を基本とし、妻入り切妻造の形態が主体である。

福井市南部、旧清水町や旧美山町など中山間部では、切妻屋根の妻面を束と化粧貫で格子状に組んだ白壁の農家が美しい農山村景観を形成している。

458 福井市引目町 昭和27年



459 福井市今市町 昭和26年



460 福井市大土呂町 昭和23年



461 福井市大森町 昭和25年



462 福井市引目町 昭和14年



296 福井市南居町 昭和16年



464 福井市南居町 明治後期



465 福井市南居町 昭和 27 年



466 福井市南居町 昭和 35 年



467 福井市安保町 昭和 11 年



468 福井市南居町 大正 13 年



469 福井市南居町 昭和 25 年



518 福井市羽坂町 昭和 4 年



519 福井市上天下町 昭和 30 年



520 福井市在田町 築 65 年程度



521 福井市在田町 一部天保 <伝>



522 福井市在田町 昭和 19 年



523 福井市甕谷町 昭和 30 年



524 福井市在田町 昭和 28 年



525 福井市在田町 昭和 18 年



526 福井市在田町 昭和 26 年



527 福井市下六条町 昭和 28 年



528 福井市清水畑町 築 100 年程度



529 福井市在田町 昭和 22 年



530 福井市下六条町 昭和 32 年



531 福井市下筋生田町 昭和 24 年



532 福井市上東郷町 昭和 28 年



533 福井市上六条町 昭和 25 年



534 福井市上筋生田町 昭和 28 年



535 福井市羽坂町 明治 43 年



536 福井市清水畑町 昭和 30 年



537 福井市上六条町 昭和 26 年



538 福井市上東郷町 昭和 34 年



539 福井市上六条町 昭和 23 年



540 福井市羽坂町 昭和 14 年



541 福井市八ッ俣町 築 110 年程度



542 福井市引目町 明治 42 年



543 福井市土橋町 昭和 30 年



544 福井市清水畑町 昭和元年



545 福井市清水畑町 大正7年



546 福井市今市町 昭和3年



547 福井市天王町 昭和23年



548 福井市小稲津町 昭和26年



549 福井市小稲津町 明治32年



550 福井市天王町 昭和28年



551 福井市大土呂町 昭和13年



552 福井市今市町 昭和 28 年



553 福井市天王町 昭和 24 年



554 福井市浅水町 昭和 30 年



〔永平寺町〕

永平寺町の集落には、間口 3~4 間の切妻屋根で、真壁の大きな妻壁を見せ、前面には出の深い下屋庇を設けるものが多い。また、主屋の片側には下屋庇と一体となった「つこのや」を介して土蔵が続き、独特の景観を形成している。

480 永平寺町東古市 昭和 23 年



481 永平寺町京善 明治 38 年



〔大野市〕

大野市の郊外には、切妻屋根の妻面を束と化粧貫で格子状に組んだ白壁の美しい農家が残っており、大野の農村風景を特徴付けている。

470 大野市土打 昭和 13 年



555 大野市深井 昭和 10 年



556 大野市西山 平成 21 年



556 大野市伏石 築 150 年程度



〔鯖江市〕

鯖江市の郊外には、切妻造棧瓦葺で、前面に下屋を持ち、その上に白漆喰塗で、格子状に組んだ束と貫が織り成す美しい妻壁を見せる農家が見られ、背後の山並みや田園風景ともよく調和した農村風景を形成している。

また、旧北陸街道に沿った神明地区、立待地区には、町家に混ざって妻入り切妻造の農家型の民家が建ち並んでいる。これらの家構えは、通り沿いには生垣や板塀を設け、その内側に前庭を持つ家が多く、生垣や前庭の樹木の間に見え隠れする妻壁がよく調和した景観を形成している。

471 鯖江市旭町 明治30年



472 鯖江市西大井町 昭和27年



473 鯖江市西大井町 明治中期



474 鯖江市小泉町 昭和20年



558 鯖江市神明町 昭和8年



559 鯖江市河和田町 築100年程度



560 鯖江市神明町 昭和 27 年



561 鯖江市神明町 昭和 15 年



562 鯖江市神明町 昭和 7 年



563 鯖江市神明町 大正初期



564 鯖江市神明町 昭和 8 年



565 鯖江市鳥羽 築 100 年程度



566 鯖江市神明町 築 75 年程度



567 鯖江市神明町 昭和 29 年



568 鯖江市神明町 昭和 16 年



569 鯖江市鳥羽 昭和 5 年



570 鯖江市水落町 昭和 12 年



571 鯖江市水落町 昭和 8 年



572 鯖江市水落町 昭和 7 年



573 鯖江市水落町 昭和 12 年



574 鯖江市鳥羽 築 100 年程度



575 鯖江市神明町 昭和 31 年



576 鯖江市鳥羽 昭和 27 年



577 鯖江市鳥羽 昭和 29 年



〔越前市〕

越前市の郊外には、切妻造棧瓦葺で、前面に下屋を持ち、その上に白漆喰塗で、格子状に組んだ束と貫が織り成す美しい妻壁を見せる農家が見られる。煙出しの越屋根を持つ切妻造と比較的新しい入母屋屋根の家屋が混在しているが、土蔵や長屋門も点在し、伝統的な農村風景を形成している。

475 越前市新保町 昭和 15 年



476 越前市下太田町 明治 39 年



477 越前市杉尾町 昭和 54 年



478 越前市山室町 明治初期



479 越前市黒川町 江戸末期 <伝>



578 越前市余田町 昭和 20 年



579 越前市宮谷町 明治 15 年



580 越前市片屋町 昭和 21 年



581 越前市片屋町 昭和 25 年



582 越前市片屋町 昭和 22 年



583 越前市片屋町 平成 3 年



584 越前市本保町 昭和 31 年



585 越前市下四目町 昭和 2 年



586 越前市大虫町 大正 10 年



587 越前市大虫町 昭和 32 年



588 越前市大虫町 明治元年



589 越前市大虫町 大正 8 年



590 越前市大虫本町 明治 30 年



591 越前市大虫本町 明治 44 年



592 越前市千福町 明治 30 年



593 越前市別印町 大正 6 年



594 越前市別印町 大正 7 年



595 越前市別印町 昭和 15 年



596 越前市別印町 昭和 60 年



597 越前市別印町 昭和 28 年



598 越前市千合谷町 昭和 23 年



599 越前市広瀬町 昭和 33 年



600 越前市広瀬町 昭和 25 年



601 越前市広瀬町 昭和6年



602 越前市菖蒲谷町 昭和28年



603 越前市堀町 昭和8年



604 越前市池ノ上町 昭和5年



605 越前市池ノ上町 昭和3年



606 越前市池ノ上町 昭和10年



〔越前町〕

越前町には、切妻造棧瓦葺で、前面に下屋を持ち、その上に白漆喰塗で、格子状に組んだ束と貫が織り成す美しい妻壁を見せる農家が集中して見られる。

背後の山並みや田園風景ともよく調和した農村風景を形成している。

482 越前町赤井谷 明治 35 年



483 越前町赤井谷 昭和 33 年



484 越前町佐々生 昭和 16 年



485 越前町佐々生 明治 30 年



486 越前町内郡 大正 10 年



487 越前町内郡 昭和 2 年



488 越前町内郡 昭和 29 年



489 越前町天王 昭和 28 年



490 越前町天王 昭和 13 年



491 越前町天王 昭和 30 年



492 越前町天王 昭和 29 年



493 越前町内郡 昭和 10 年



494 越前町岩開 昭和元年



495 越前町岩開 昭和 9 年



496 越前町岩開 昭和 30 年



497 越前町寺 昭和 8 年



498 越前町檜津 昭和初期



499 越前町気比庄 昭和 32 年



500 越前町下山中 昭和 29 年



607 越前町宇須尾 昭和 28 年



608 越前町田中 明治 11 年



609 越前町乙坂 大正時代



610 越前町寺 平成元年



611 越前町蟬口 昭和38年



612 越前町蟬口 明治時代



613 越前町佐々生 明治35年



614 越前町内郡 築150年程度



3) その他地域固有の形態を持つ民家

501 福井市鮎川町 大正 11 年



502 福井市鮎川町 昭和 2 年



503 福井市鮎川町 建築年不明



504 福井市鮎川町 建築年不明



505 福井市鮎川町 建築年不明



506 福井市鮎川町 昭和元年



615 越前市片屋町 昭和 10 年



616 越前町岩開 築 160 年程度



617 越前町織田 明治17年



507 敦賀市金ヶ崎町 明治後期



〔注意事項〕

- 認定民家は個人の住宅等で、原則として非公開です（文化財関係等一部除く）。所有者等にご迷惑をおかけすることのない様お願いします。
- 記載されている建設時期は、所有者からの聞き取りによるものです。

5 用語解説

うだつ (卯立・卯建)	妻側の壁を屋根より高く突出して小屋根を付けたもの。
オイエ	民家において大戸口から入った取付きの一室。オエとも呼ばれる。
ガッター	ミセの軒下に柱外側に軸吊されている縁台。普段使わないときは引き上げて収納するようになっている。揚見世・ぼったり床几とも呼ばれる。
かぶと (兜) 造り	寄せ棟造りの屋根の妻部分を垂直に切り落として、二階や小屋根に開口部を設けるようにした、養蚕を行なうために発生した造り。
けぎよ 懸魚	建物の妻側において、棟木または桁の端に取り付ける装飾的な線形のある板。
こうがい 筭	板葺の庇の上に設けられる厚板を押さえる横木。
こしやね 越屋根	棟の一部に設けられた開口部の上の小屋根。主として瓦葺屋根に見られるもので、煙出し、換気、採光のためのもの。
しとみど 薮戸	町家において戸締りのためにはめ込む横戸。上から下に柱間に落とし込まれる場合と、下戸のみを落とし込み、上戸は外方または内側に吊上げて吊金具で留めておく場合とがある。
せがい 船柁造	側柱上部から腕木を出して軒下に、舟の船柁に似た小天井を張ったもの。
そでかべ 袖壁	2階建ての民家において、2階軒下の正面両側に建物から突出して設けられた壁。
だしげた 出桁	腕木・片持ち梁などの先端に渡してある桁。腕木の場合は腕桁とも呼ばれる。
つし (厨子)	民家の屋根裏。草葺・板葺・瓦葺のいかににかかわらず用いられ、窓を持つ場合も持たない場合もある。床は、 ^{むしろ} 棧を渡し ^{むしろ} 筵を敷いただけのものから板張りのものまである。物置、蚕室、使用人の寝間などに用いられた。
つのや (角屋)	家屋の棟と直角に突出した別屋。
でごうし 出格子	柱通りより外方に突出して造られた格子。
のぼりぼり 登梁	木造の小屋組みにおいて傾斜して架けられた梁。通常は、屋根裏の空間を広くとるため一端を桁に、他端を地棟に架ける。
はふ 破風	屋根の妻側についている合掌形の装飾板。また、その破風板のついていところ。
まくいた 幕板	町家の正面において、軒先から吊束を下げ、横框を渡し板張りとしたもの。オダレ、幕架けとも呼ばれる。
むす 起り	上方に凸形に湾曲している曲線または曲面。
むしこまど 虫籠窓	町家のつし二階正面窓に設けられている塗り格子の窓。

参考資料：建築大辞典（彰国社）

